

愛車に合わせてカスタマイズできる

**WORK**

W H E E L S

**Equip**

シリーズの

# リムアレンジ

愛車のイメージを大きく変えるパーツ、アルミホイール。それだけにお気に入りのホイールはクルマ作りに欠かせない存在なわけだけど、デザインと同じくらい拘りたいのが、ホイールのカラーリングだ。ディスクとリムが別体である3ピースホイールならその選択幅は更に広がる。おなじみのワークが展開しているカスタムオーダープラン“リムアレンジメント”を紹介していこう



本誌7月号のホイールマッチングで登場したガレージワタナベAE86が履いていたのもリムアレンジされたエイクイップ40だ



一般的にホイールの印象を決定する要素というところ、ディスク面のデザインばかりに気を取られがちだけど、ご覧のようにリムの存在感も負けてはいない。アレンジされたリムによって、ディスクの印象も大きく変わる。リムアレンジはホイールのイメージ、愛車の外装をガラッと変えるくらい強烈なカスタムだ



# スタンダードカラー&リムはこちら



## EQUIP01

**ディスク:ブラックカットクリア**

**+ リム:バフアルマイト**

14インチと15インチでサイズ展開されているエクイップ01。リム幅は14インチでは5Jから0.5J飛びで11.5Jまで、15インチでは5Jから0.5J飛びで13Jまでという、かなり幅広いもの(エクイップ03もサイズ展開は同様)。ディスクは十字スポークの前面を切削加工でアルミの質感を強調したクリア仕上げとし、前面以外のハブボルト取り付け部やスポーク側面はブラックアウトされているブラックカットクリア。標準カラーでは、このディスクに鏡面仕上げとなっているバフアルマイトリムと組み合わされている



## EQUIP03

**ディスク:ゴールド**

**ディスク:ブラックカットクリア**

**+ リム:バフアルマイト**



幾何学的なスポークが印象的なエクイップ03は当時物を彷彿とさせるゴールドと、ブラックカットクリアという2種のディスクのラインナップ。これにバフアルマイトリムが組み合わされる。この2種でもだいぶ印象は異なる



## EQUIP40

伝統的なフォーミュラ用十字スポークホイールに、現代風な切削アレンジが加えられたエクイップ40。こちらもバフアルマイトリムに、ゴールドとシルバーディスクの2種が標準カラーとなっている。なお、オプションアイテムとして、ピアスボルトとワッシャーのカラリング(素材)は3種の組み合わせから選ぶことができる



**ディスク:スプリントゴールド**

**ディスク:ブルットシルバー**

**+ リム:バフアルマイト**



そもそも、エクイップ01とエクイップ03のリムアレンジはこれまでも展開されていたけど、エクイップ40発売時にフラッシュユードが追加された。スタンダードなカラリングから、より選択肢が広がったわけだ。これは非常にありがたいことだね。

エクイップ40登場からリムアレンジが急展開  
カタログにある通常ラインナップとは別に、カスタムオーダープランが設定されているワークのアルミホイール。リムアレンジはその中の一つで、リムの仕上げ工程である表面処理を標準仕上げ(エクイップシリーズの場合はバフアルマイト)とは変えることで、色味や質感が異なったリムに変えることができるカスタムだ。この他、旧車とは少し遠い話だけど、ヴィヴィットな特殊カラー仕様のディスクを用意したカラリスムや、大径リムにレーザで任意のロゴ(アサイン文字)が入られるレーザータトゥーカスタムなど、ワークは幅広くカスタムプランを展開している。

# カットサンプルで見る 5種類のリムアレンジ



エクイップシリーズで展開されているリムアレンジは上記5種類。往年の1ピースホイールのようなイメージも醸し出せるブラックアルマイトは「アルミは黒！」派な人にも人気。近年、人気急上昇中のブロンズアルマイトは深みのある銅色が高級感と大人な感じで魅力。ブラッシュドは表面加工でヘアラインを出したマット仕様で、金属色が活きる質感だ



こちらはパフアルマイトリムのカットモデル。なお、リムに入っている文字は16インチ以上のホイールで展開しているレーザータトゥーカスタム。エクイップシリーズでは非対応だ

## EQUIP01



### + ブラックアルマイトリム

ブラックカットクリアのディスクにブラックアルマイトリムの組み合わせは、切削された十字スポークの存在感を際立たせる効果にも。右はブラックカットクリアにブロンズアルマイトの組み合わせだ。アルマイト加工のカラーリムは光に当たると質感がまた変わって見えるという魅力もある

ディスク:ブラックカットクリア



## EQUIP03



### + ブラックアルマイトリム

エクイップ03のブラックカットクリアディスクとブラックアルマイトリムの組み合わせも、スポークの切断面がピカリと目立つ仕様になる。右下のブラックカットクリアディスクとブロンズアルマイトリムの組み合わせと比べるとわかるように、リムのカラーリングでスポークの印象も変わってくる

ディスク:ブラックカットクリア



### + ブロンズアルマイトリム

ディスク:ブラックカットクリア



### + 艶消しブラックアルマイトリム

ディスク:ブラックカットクリア



ブラッシュドリムや艶消しブロンズアルマイトリムにも言えることだけど、艶消しブラックアルマイトリムは艶消しなのに表面はガサガサしていない、ということが独特の質感となっている。一方、ディスクはブラックカットクリアなので、スポーク側面には艶がある。それがリムの艶無し感をより強調する

# EQUIP40 + ブロンズアルマイトリム



スプリントゴールドディスクも、ブルットシルバーディスクのどちらも、ディスクとリムのコントラストが強烈。そして、ブロンズアルマイトリムとの相性はゴールド/シルバーどちらも良いということがわかる。ピアスポルトをブラックにするか、SUSにすることでも印象は大きく変わるだろう

ディスク:スプリントゴールド

ディスク:ブルットシルバー

# EQUIP40 + ブラックアルマイトリム



ブラックアルマイトリムの重厚な感じがよく出ている組み合わせ。走り系のクルマでは昔からの定番だけど、やはり黒く塗られたリムは硬派なイメージ。黒光りするリムの中でゴールドに輝くディスクと、ピアスポルトと調和のとれたシルバーディスクのどちらがキミは好みかな?

ディスク:スプリントゴールド

ディスク:ブルットシルバー

## EQUIP01とEQUIP03が対応

### クリアカラーによるディスクアレンジ



ディスクに吹くクリア塗装に透き通る色をのせるクリアカラー。ラインナップは5色あり、上のブラック/クリアブルー、ブラック/クリアブロンズ、ブラック/クリアレッドの他、ブラック/クリアゴールド、ブラック/クリアブラックがある。ブラックカットディスクのエキップ01とエキップ03が対応している



メーカー標準設定の状態からより自分好みにアレンジしよう  
シルバーカラーのディスクや、アルミの質感を出したハフフィニッシュのリムには、どんなクルマに装着しても似合ってしまつという普遍性がある。それはそれですごいことだけど、自分のクルマだからこそ似合う色、人とは違うカスタムを追求したいと思うのは、クルマ好きの常。今回紹介したワークのリムアレンジはそんなクルマ好きの拘りに応えてくれるカスタムプランだ。いわゆるツルシの状態からホイールをアレンジするわけだから、クルマに詳しい人からそうでない人まで、足下に目を引くことは間違いなし。